

研究課題番号	5-2003
研究課題名	化学物質体内動態モデル及び曝露逆推計モデル構築システムの開発
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	磯部 友彦

1. 委員の指摘及び提言概要

PCPsの使用実態や食事、ハウスダスト等も含め曝露をコントロールした介入調査が実施され、化学物質の尿中濃度減衰の半減期を求めたという意味で非常に貴重なデータと考えられる。曝露係数やパラメータの取得やフィッティング、介入試験による再評価を実施し、手法の高度化および信頼性向上を進めてほしい。体内濃度から曝露量を推定するチャレンジングな研究であるが、曝露逆推計モデルとしてどのようなモデルを構築したのか説明がなく、一般化については不十分と思われるので今後の発展が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：A